



# EGAO通信

**中村 てっぺい** 宮崎市議会議員

vol.3  
令和2年11月



## 未来につなぐ、地域の笑顔！

ごあいさつ



気持ちの良い秋風が吹きわたる頃となりました、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

皆様方には日頃より、公私にわたりまして多大なるご指導・ご鞭撻を賜り、心から感謝申し上げます。

お陰様で新人議員として2年目の活動をスタートいたしました。しかしながら、世界にパンデミックを巻き起こした新型コロナウイルス感染症は、私たちに甚大な影響を与え、様々な行事や会合等が中止や延期になるなか、全国の学校が臨時休業にもなり教育の遅れも心配されます。まだまだ課題が山積する中、新型コロナウイルス感染症に対する新たな生活様式を取り入れ感染拡大の防止と社会経済活動の活性化を持続可能とすることに全力で取り組み、課題解決に努め宮崎市民の皆様が今まで以上に安心安全な生活をしていただけますよう、より実効性のある施策や事

業の展開につなげていくことに努めてまいります。

そのような中、議会としましては6月定例議会では「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」が示され、25事業14億3,638万6千円の補正が可決いたしました。主な内訳は、感染拡大防止策と医療提供体制の整備事業98,086千円、雇用の維持と事業の継続事業594,200千円、次の段階としての官民を挙げた経済活動の回復事業744,100千円

また、7月臨時議会においても、33事業26億9,613万6千円の補正可決いたしました。主な内訳は、感染拡大防止策と医療提供体制の整備事業465,529千円、雇用の維持と事業の継続事業599,818千円、次の段階としての官民を挙げた経済活動の回復事業263,530千円、強靱な経済構造の構築事業1,377,519千円。

宮崎市議会議員も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による宮崎市経済への影響を鑑み、議員報酬を令和2年6月から12月までの10%減額し、常任委員会・特別委員会の調査活動費10,260千円を新型コロナウイルス関連事業の活用のために補正しました。

今後も、地元選出国會議員(国)・県・市の連携強化を図っていきたいと考えております。

### プロフィール議員活動

#### 今年度メイン委員会活動

- 会派 令政会
- 令政会 会長
- 建設企業常任委員会副委員長
- 広報広聴委員会
- 宮崎市社会福祉審議会委員
- 高齢者交通問題対策特別委員会
- 宮崎市防衛議員連盟
- 宮崎市議会森林・林業活性化促進議員連盟
- 宮崎市農業振興議員連盟
- 宮崎市水産振興議員連盟
- 宮崎市観光・スポーツ振興議員連盟
- 宮崎市動物愛護促進議員連盟
- 宮崎市APOプロジェクト委員
- 宮崎市文化・芸術振興議員連盟

### 大淀地区での見守り活動 7年目に突入



現在も活動継続中!



**中村 てっぺい**

携帯 090-3739-3198

〒880-0905 宮崎市中村西2丁目3番28号

E-mail: isn-5@beach.ocn.ne.jp

令政会会派室 TEL: 0985-21-1918

FAX: 0985-26-1600

# 令和2年9月定例会にて一般質問をさせていただきました「感謝」

## 新型コロナウイルス感染対応について



←議会中継はこちら

**Q** ウィズコロナを見据えた今後の生活支援地域経済を今後、行政対応はどうするのか。

**A** 市長答弁

今後、第3波の発生が懸念されますことから、感染拡大への強い危機感を維持し「新しい生活様式」を踏まえた感染予防策の徹底を市民や事業者の皆さまにお願いするとともに、日常の社会経済活動との両立も図りながら、甚大な影を受けた本市の地域経済の回復に努める。

**Q** 旧宮崎市郡医師会病院施設の活用について、市の対応を伺いたい。

**A** 健康管理部長答弁

新型コロナウイルス感染に対する医療提供体制の整備については、県が主体となって進められており、現在、県と宮崎市郡医師会との間で、活用に向けた協議が行われている。



**Check!** 新型コロナウイルス感染者の専用病棟として活用が検討されている宮崎市新別府町の旧市郡医師会病院について、県と市、市郡医師会の協議が最終調整に入ったことが分かった。19床が感染者用に充てられるとみられる。感染拡大の「第3波」を前に、県内初めてのコロナ専門病棟として開設する協定を近く3者で締結する見通し。

## 子どもの居場所及び子育て支援について



←議会中継はこちら

**Q** 7月1日から利用料を助成するファミリーサポートセンター事業の現在の利用状況と今後のみこみ。

**A** 子ども未来部長答弁

ファミリーサポートセンターの利用状況は、7月の活動件数は538件で、昨年7月と比較すると244件の増加、約1.8倍の実績となっており、会員数についても、依頼会員、援助会員ともに、大幅に増加している。援助会員の中には、今回の利用促進事業を機に、新型コロナウイルス感染の影響で困っている子育て世帯のために、新たに活動に参加された方もおられる。今後の利用見込みについては、来年3月までの活動件数が昨年度の同期間の1.5倍程度に増加すると考えている。



**Check!** この事業は利用状況を聞き限り、非常に子育て期の方にはしっかりとサポートできる内容です、しかも新型コロナウイルス感染症の第3波に備えるうえでも今後の拡充に期待したいです。

**Q** 現在、宮崎市の管理している小松台公園の一部を法令整備し本市の子育て支援事業の一環としてプレーパークの常設はできないか。

**A** 都市整備部長答弁

現時点では、都市公園内に特定目的の施設を独占的に常設することは困難だが、現行法律制度内で柔軟に対応し、可能な限り協力はしていきたい。



**Check!** 今後は関係各課で連携し未来の宝でもあります宮崎っ子のためにも前向きに検討してもらおう前回に続き強く要望しました。

## 天神山公園について



←議会中継はこちら

**Q** 公園内の痛んだベンチや展望台の階段の修繕は緊急対応できるか。

**A** 都市整備部長答弁

危険なベンチや展望台階段については、早急に現地調査を行うとともに使用を禁止し、対応方法について検討する。

**Q** 災害時の初期避難生活に備え、公園内の痛んだベンチを、随時、防災かまどベンチにリニューアルできないか。

**A** 都市整備部長答弁

都市公園内の公園施設の更新については、基本的には機能を維持した形による原型復旧にて対応している。防災かまどベンチについては、災害時などに周辺住民が利用主体となることから、地域自治区が自ら都市公園に設置する場合について、設置許可申請を受けて、許可を行っている。



**Check!** 各所管で防災かまどベンチの設置基準が異なることから、宮崎市避難所等環境整備支援事業を活用しながら地域住民と相談しながら実現に向け協議していきたいです。

# 建設企業常任委員会所管施設視察

令和2年7月21日

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の観点から、県外の先進地視察は中止となり新たな情報を調査研究できませんが、地元宮崎市の行政所管の動きをしっかりと調査研究しております。

## 7年半の取り組み



←小戸之橋のホームページはこちら

平成25年に役割を終えた旧小戸之橋が、新たに生まれかわるまで、約7年半の通行止めを要することとなり、いよいよ令和3年3月に全面開通予定です。

旧小戸之橋に対する50年間の思い、小戸之橋は、現在4代目を建設中です。3代目であった先代の小戸之橋は、昭和38年に建設されて約50年間利用されてきたものです。その7年半の間、様々な取り組みをしてきましたので紹介します。

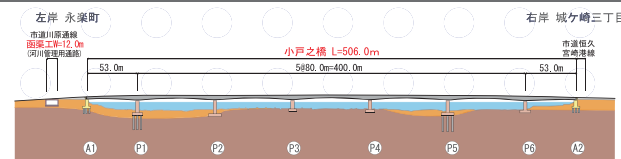
- ・ありがとう小戸之橋さよならフェスティバル
- ・特別授業「橋(はし)について」の実施小戸之橋魚群アート
- ・フォトストーリー/ポスターギャラリー
- ・小戸之橋ストリートフェスティバル
- ・小戸之橋南北沿線のエリアマップの作成
- ・小戸之橋「橋カード」の作成
- ・小戸之橋工事現場リーフレットの作成



小戸之橋ができるまで(CGによるイメージ)

令和3年3月完成予定

全体一般図



## 建設企業所管施設視察(フェニック自然動物園)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い59日間の休園の影響で入場者数が大幅に減少したことで管理運営に支障が生じることから、営業損失相当を指定管理者へ保証金67,607,000円を支払いました。

### チンパンジー舎改修工事の内容

- ・観覧者側の水堀の壁を2.5メートルと高くすることで、チンパンジーの脱走を防止しました。併せて、周りの園路を嵩上げすることで、当初どおり、自然で開放的な形で観覧できるようにしました。
- ・当初展示場側に設置していた電気柵を、水堀中央付近に移設することで、チンパンジーが誤って水堀に転落した場合でも展示場に戻りやすくなるようにしました。
- ・観察用カメラを1台増設し、チンパンジーの観察時以外は、水堀の映像を記録できるようにしました。改修工事費は16,858,768円



## 建設企業所管施設視察(エコクリーンプラザみやざき)

エコクリーンプラザみやざきは、環境学習・管理棟、焼却施設、リサイクル施設、水処理施設/浸出水調整池、管理型最終処分場があり県央地区の10市町村の家庭から排出される一般廃棄物と県内全域の事業活動から発生する産業廃棄物を併せて処理する「廃棄物処理センター」として、焼却熔融施設、リサイクル施設及び管理型最終処分場等を一体的に整備し、平成17年11月に本格開業。

また、エコクリーンプラザみやざきは、全国でも有数の廃棄物処理施設や環境学習施設「エコラ」など環境学習・環境教育のための総合的施設を有しており、毎年、県内外、国外からも多くの見学者が来場しております。



## TOPICS 11月 November

宮崎市では、「乗って楽しい」、「見て楽しい」、そして便利な「まちなか回遊モビリティ」をコンセプトに、宮崎駅周辺とまちなかを結ぶグリーンスローモビリティ「ぐるっぴー」の運行を11月20日(金)より開始いたします。

- 【運賃】 1乗車100円 ※小学生以下の子どもは無料!!
- ※交通系ICカード及び現金が使えます。
- ※車椅子ご利用の方もご乗車いただけます。



# 会派勉強会

令和2年7月9日 都城市役所及び施設見学をおこないました。

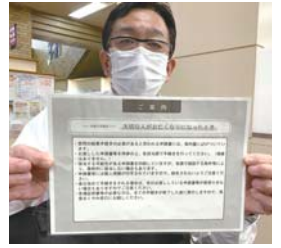
視察当日は都城市議会議員 中村千佐江議員に同行いただきスムーズに活動できました。  
2年前に庁舎1階・2階のリニューアルも市民目線で各コーナーが一目でわかるレイアウトになっており、素晴らしい事業だと感じました。



都城市役所近くにあるルウ王子(カレーショップ)にて昼食、この店主は、みやこんじょ大使をされており貴重なお話も聞きました。  
そして、「ふるさと納税・日本一」の取り組みを調査させていただきました。  
ふるさと納税の専門部署みやこんじょPR課が設置されております。



おくやみ窓口を見学、死亡手続きの際、さまざまな書類申請がワンストップで提供できるシステムになっており、職員の対応も丁寧なされているのが印象的でした。  
宮崎市においても高齢化が進む中是非とも取り入れて欲しい事業だと痛感しました。

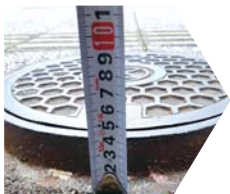


中心市街地中核施設mallmall(図書館)も館長より丁寧に説明を受けました。  
市民の利用度も予想をはるかに上回る成果を上げていることも確認できました。  
先日の新聞投稿欄に高齢者の方が、この図書館は「都城の知」が詰まっている。  
その知をいつでも取り出すことができる。図書館が今発信したいものを知ることができる。広々とした空間と工夫された展示法が多くの利用者に共感されていると記されてました。まさに同感でした。今後、宮崎市も市民の利用度が上がるような施設展開を要望していきたくと思いました。



何でも  
ご相談ください!!

## 市民要望からの改善結果報告



県庁楠並木通りにて排水口蓋の段差により転倒事故が発生し連絡を受け応急処置を施し最終的にレベルを合わせ完成。



事故が多発している交差点に信号機設置の要望をしたが、現在のところ設置ができないとのことを受け、安全を講じる提案をさせていただいたところ、注意喚起ポールと注意喚起レッドラインを施工していただきました。



マンホールの段差及び噛み合わせ悪く、車が通る度に段差音が発生、行政に改善要望し早急に対応していただき完成。



幼稚園バスの通行道路で草木が荒れ放題でカーブミラーも隠れるほどの状況を行政に相談数週間に対応いただきました。



歩道に設置してある排水口蓋に段差があり転倒事故が発生、特に子どもたちの通学路になっているため、行政に改善要望したところ即日対応していただきました。



子どもたちの通学路で雨が降る度に水溜まりができ数日間水がはけず不便な通学路でしたが、行政と立ち合い調査後、排水口を施し改善されました。